指定管理者制度導入施設評価票

評值	西対	象年	度	令和5年度				
施	討	ī Ž	名	秋田・本荘・男鹿マリーナ	設置年	平成	7	年
所	在	E	地	秋田市飯島字堀川118番地、由利本荘市石脇字田尻35番地、男鹿	市船川港船川字	海岸通り1番5	地20	
指	定管	管理	者	株式会社 マリーナ秋田				
県	所	管	課	港湾空港 課 調整・ク	ウルーズ・	• 空港	チー	-7

1 施設の概要

・ 心設の似安						
設置目的	海洋スポー	「川・海岸の放置 -ツ・レクリェー な育等、地域活性	ションの普及	及・振興を図		行う
県の施策上の 施設の位置付け	新秋田元気類	創造プランや各 創造プランや各 設に求められて	分野の個別割			
施設の面積	秋田:177,00	00㎡、本荘:45,	000㎡、男鹿	: 88, 000 m ²		
 主な設置施設	マリーナ施設	せ (ボートヤート	、船揚場、村	桟橋等)、ク	ラブハウス、	駐車場
指定管理業務の内容	料金設定 サウンディン 指定期間 営業期間・ ・使用の許理、・ ・利用促進に	、取消等の業務 運営に関する業 関する業務	※ × 1 1 ~17:00 (通年)、土日 8 客	~ 8:00~19:00(4~8月)、	R11.3.3] 8:00~18:00(9月)、8:	
自主事業の内容	・レンタルボート・その他、舟艇	の舟艇に係る販売 、レンタル倉庫等の こ関連する様々な したワカメの刈取り	事業			
直近3年の年間利用者数	女 R3	人	R4	人	R5	人
直近3年の年間利用収力	R3	57,129 千円	R4	千円	R5	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)	R元	R2	R3	R4	R5
収入 計		103,154	107,744	113,294		•
利用料金収入		57, 388	57, 726	57, 129	57,523	55,481
指定管理料		4F 700	FO 010	FC 105	FC 000	F 4 000
その他収入		45, 766	50, 018	56, 165		54,829
支出 計 人件費		100,704 62,612	105,515 61,858	109,754 61,349	11 0,932 62,466	107,970 61,978
八 <u>仟</u> 夏 光熱水費		4,715	4,500	4,768	5,301	5,138
修繕費	1,581	1,577	2,124	1,595	1,802	
外部委託費		0	0	0	0	0
その他経費		31,796	37,580	41,513	41,570	39,052
差引		2,450	2,229	3,540	2,900	2,340

[※]単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を 検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I > 施設の設置目的(施設の目指す姿)の達成に関する取組 【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

- (1) 健全な海洋性スポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、本施設の利用促進に取り組む。
- (2)本施設を通じた地域振興を図るため、県民等を対象としたイベントを開催する。

〇目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度 の目標	年間出港回数 7,500回	
--------------	---------------	--

〇指定管理者による実績報告

	実績	6,090	達成率	81	.2%	
令和5年度 の実績	具体的な 取組と その効果	R5年度は7月の豪雨被害、8月後半から9月にかけての猛暑、10-11月の荒天により、出港回数はほぼ毎月前年割れが続いた。その中で出港促進策としてフィッシングコンテストを5-9月5ヶ月間開催し、計815件の釣り情報をSNSで発信した。 ※フィッシングコンテストのエントリー件数は前年比61.0%				
	年度	R2年度	R34	丰度	R4年度	
直近3年	目標					
の実績	実績	7,410	7,2	73	7,225	
	達成率	_	-	-	-	
令和6年度	目標	年間出港回数 7,200回				
の目標 (設定根拠)	設定根拠	R5年度は異常気象による の出港回数をR6年度目析		だったと捉え	-、R4年度7,225回並み	

[※]指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点I>の評価

\rightarrow	既示 エノ リ		
	評価者	評価	コメント
評価	指定管理者	В	天候要因とはいえ、前年を大きく下回った結果となった。異常気象と呼べる状態の中、釣果が上がらずフィッシングコンテストもエントリー数が前年を大きく下回った結果 となった。
欄	県 (所管課)	D	出港のピークとなる初夏~秋にかけて大雨災害をはじめとする悪天候が続いたことで、出港回数が伸び悩んだ。施設の特性上、どうしても天候に左右されてしまうが、SNSによるPRやイベント開催と絡めながら、利用艇数の増加を図っていっていただきたい。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。 また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

- A:目標達成(数値目標の場合は100%以上)
- B:A及びC以外
- C:目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

<観点Ⅱ> 施設の有効性(利用者の満足度)の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

〇指定管理者による実績報告

	実績	71.	.8%			
利用者満足度 令和5年度 の実績	取組と		こった低評価		質客満足度は前年より1.5% ぶ、オーナー駐車場の利月	
利用者満足度	R2:	年度	R34	丰度	R4年度	
の状況 (直近3年)	71.	. 3%	66.	9%	73.3%	

<観点Ⅱ>の評価

	評価者	評価	コメント
価			オーナー駐車場への、オーナー以外の駐車に対する指摘があった。設置看板増設など対策はしているが、将来的にオーナー駐車券の導入も検討していく。
欄	県 (所管課)		指摘に対し、オーナーとの協議により対応方針をまとめるなど、満足度向上に 努めた対応をしていただいた。引き続きお客様からの声を運営に反映することで、満足度の向上を図っていっていただきたい。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

<観点皿> 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

〇指定管理者による実績報告

令和5年度		販売管理経費合計 実績82,938千円 前年比99.8% 人件費 99.2% 維持管理経費 99.5% 利用促進費 87.7% その他経費120.1%
の実績	取組と	照明暖房費(光熱水費)R4/5,301千円 R5/5,138千円 前年比96.9% 屋外照明の点灯時間、エアコンの設定温度などの管理強化による電気代削減 利用者使用の水道への散水ノズル着用による水道代の軽減

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

〇指定管理者による実績報告

令和5年度		売上合計 実績110,310千円 前年比96.9% 県施設利用料売上 96.4% 自主事業売上 97.4%
の実績	具体的な 取組と その効果	レンタルボート売上 R4/4,527千円 R5/5,806千円 前年比128.2% 1艇増艇(本荘マリーナに配置)による売上増加

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
価			収入は入艇数減や天候による出港数減のため、前年実績に届かず。経費は 病欠等による人件費の未使用や維持管理経費減により前年を下回った。
欄	県 (所管課)	В	天候に恵まれなかった影響で収益が微減となってしまった。ただし、収支は 10期連続の黒字となっており、自主事業での売上等により安定した経営状況 にあると判断できる。今後も安定した経営を維持していただきたい。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。 基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:(1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B:A、C以外

C:(1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果が あったか

〇指定管理者による実績報告

 ○職員の資質向上施設の運営に必用な資格・講習を随時受講している。(R5実績 小型船舶特定操縦負許取得 刈払機取扱作業者安全衛生教育受講 危険物取扱者保安講習受講) ○地域貢献・関係団体との連携本荘高校ヨット部、男鹿海洋高校、(一社)秋田港有効利活用協会、船舶免許事業者舟艇販売業者と連携している。また一般県民を対象としたワカメ刈取り体験会の実施、栽培ワカメの社会福祉施設への寄付を行っている。 ○安全対策クレーンなどの機材、桟橋などのマリーナ施設の点検結果から、必用にお応じて修繕を実施し、利用者が安全に利用できる施設を保っている。 ○危機管理安全管理マニュアル及び、緊急時連絡体制を整備している。 	者、
--	----

<u><観点Ⅳ>の評価</u>

Ĺ	評価者	評価	コメント
評価	指定管理者	A	施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
欄	県 (所管課)	A	適切な管理運営を行っており、円滑に指定管理業務を遂行している。

【評価基準】 A:順調(改善点なし)、B:概ね順調(重大な問題点なし)、C:改善が必要(重大な問題点あり) 県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

〇県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

・釣りイベントやワカメ刈取イベントなどを企画し、多くの県民が海洋スポーツやレクリエーションに触れる機

※全施設記載

会を提供している。

〇施設運営の課題
施設の老朽化
○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)
・イベント等を通した地域との関わりも多く、子ども連れの家族を対象としたイベントは好評を博しており、県
民が海洋スポーツやレクリエーションに触れられる貴重な場として機能している。引き続き県民が安全に利
用できるよう、老朽化への対策を計画的に行っていく。
【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】
※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上公表する。
評価(提言)
○施設の管理運営状況について(<観点 I >~<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)
〇県の施策達成に向けた施設運営について
(県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)
【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】
今後の対応方針
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)
IAC 日本日 (心成の日本在日本につV・C / 及の方)が13mlで記載/
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

【今後の対応方針の進捗状況について】

※今後の対応方針策定済みの施設について、策定翌年度の評価対象年度から記載

次
今後の対応方針の進捗状況
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)